

# ロータリアン諸君 焦点は君に

*The Emphasis is on you,*

1957-58年度R.I.会長チャールズ G.

ミスター・ロータリアン、焦点は君にある。一サービスの理想に生き、日々自己の生活の中に又他人の生活の中にそれを生かして、表わして行く人は君自身だからである。

今日この偉大な世界的運動に於て最も重要な人物は實は君自身なのである。何故ならば全世界100ヵ國に及ぶ442,000人以上のロータリアン達にこそ全ロータリー運動の成否がかゝつて存しているからである。

ロータリーはたゞ君自身があらしめたいと願う形にしかならないのである。ロータリーはただ君が達成せしめたいと願う通りの事しか達成出来ないのである。来るべき1年間再び人類への奉仕に邁進する時、ロータリアンの1人々々に焦点が置かれるのは方にこの故である。

諸君の1人々々が所屬するRCの働きを理解しロータリーの有効能率的な行政機構を理解している事を私は確信している。即ちRCの個々クラブのレベルから加盟クラブの活動を指導し全世界のロータリーの勢力を擴大するR.I.と稱せられる一大運営機構に迄到る全機構を諸君各自が理解している事を確信している。

各加盟RCはこの運営機關の重要な1部を成しているのであるがその眞の目的はたゞ一つ、即ち人間を通じて一つの單純な理想を實現する事—諸君ならびに各地の諸君と同じ様な人々を通じて實現する事である。個人を遜ぜずして他の何處に理想は表現を見出し得ようか。

我々は時としてこの關聯を忘れ勝で、自分丈が爲しうる事をRCや地區やR.I.にしてもらおうと當にしている事が問々ある。

我々がR.I.と稱するこの立派な機關、即ち忠實で能率的な事務局—役員、理事、委員達—を擁し又有用な文献である雑誌及び刊行物を持ち、國際協議會及び色彩豊かな大會、ロータリー獎學基金、

並びに、その他の優秀な助力制度を駆使しているR.I.の指す方向は明にたゞ一つである。即ち我々がロータリアンと稱する個々人を目指しているのである。それは諸君を、私を、そして世界中の全ロータリアンを目指しているのだから、それ故にこそ焦点は君にあると云うのである。或意味で君自身がロータリーである。

ロータリーに對する熱意に於て、我々は屢々多くの美しい心を驅り立てる様な繪を描いていると云えよう。例えば各人がそれぞれの立場から繪を描く、そしてあれやこれやの奉仕面に強調を置くしかし全體として繪に於ては、前景にくつきりと浮き出て來るのが所謂ロータリアンと稱する個々人である。個人と組織と運動の關係を決して忘れずこの事實を絶えず念頭に保つて行くことは極めて重要である。

世界が破滅の危機に類しているこの緊迫した時代に、善意と理解の人として奉仕する責任、義務機會を想起することはまことに重要である。

前途に横わるこの苦しい時代に「一體何故ロータリーは（機關としての意味）何等かの對策を講じないのか」「何故ロータリーは發言しないのか。」「何故ロータリーは立場をとらないのか。」と云い出す人も出かねない患難の時機もあるであろう。」

442,000人のロータリアンが靜に平和に、品威と目標をもつてロータリーを實踐すると云う眞剣な仕事に従事しているが故に、ロータリーは日々何かの解決をなしているのだと悟れば、それは我々にとつて何と慰めとなり安心の出來る事實であろうか。即ちロータリーは數10萬の善意の人々の有力な生活を以て雄辯に語つていたのである。我々が専門の、實業の、又個人としての生活にロータリーの理想を適用しようと務める時、地域社會の必要と義務に、又誰であろうと何處にいようと同胞に對する我々各自の態度にロータリーの理想

Mr. Rotarian

テナメントよりのメッセージ

を適用しようと務める時、それぞれロータリーの執る立場だと云えるのである。

この故に焦点は君個人にあると云えるのである。何故ならば君自身のもつロータリーのフェアプレーの概念と矛盾しない行をしなければならないからである。例えば四つのテストに照らして語り、行動し、言葉と行を律しなければならない。又地域社会に於ては良き市民たる資格と調和した立場をとらなければならない。

又我々は皆、ロータリーに於ける働きが方に向何處に生ずるかを銘記する事が大切である。たとえて云うならば、波が岩や砂にくだける遠い遠い地点で働きが生ずる事を知る爲には海邊に立つて潮のうづまく様を見ていさえすればよいのである。

ロータリーに於ては各會員がロータリーの生活を實踐し、人々がロータリーの思慮深さと頼り強さを必要とする場合にこそ働きが生ずるのである。即ち諸君の家庭、クラブ、事務所、事業所、地域社会の中に生れる。諸君の生活が他人の生活に觸れ他人に對し思いやりを盡し、他人の助けとなる必要が存する場合にそれは働くのである。

友情にみちた奉仕によるロータリーの力を決して見逃したり過小評價したりしないようにしようではないか。9300の地域の442,000人のロータリアンの生活に於てロータリーの理想が力強い生ける力である場合には、我々の目標に向つて明な進展が存するのである。即ち眞實に基く友情的平和世界の目標へ。

もしこれからの1ヵ年間我々の前に開かれていますあらゆる分野の機會に於てロータリーの目標を十分に發揮させるべき各會員の擔う責任を君も私も全ロータリアンが引受けるならば、眞理に對する人間の永遠の探究にはずみと與え、やがてはすべての人間を自由にすることに貢出獻來るであらう。

ミスター・ロータリアン、焦点は君にあるのだ



テナメント會長夫妻

次頁「バックスについて」を御覽下さい



數年前、ある男が我々の町のある美しい通りに1軒の家を買った。却々美しい家ではあつたが庭は大分荒れていた。彼は隣家の主人に云つた「庭師を入れなければならぬのだがね、正直の所家を買うのに有金をはたいて了つたのだ。」すると隣人はこう云う提案をした。「毎朝5時半に君の家の庭に行くから一緒に庭の手入をしよう、そうすれば1文もかゝらないじゃないか。」こうして數週間の間、毎日出勤前に2人は1時半宛働いた。間もなく樹々は形よく整えられ、芝生も花壇も整然となつた。この親切な友人こそ北カロライナ州アッシュヴィルで凡ての人々に「バズ」と呼ばれているチャールズG・テネント氏である。

1957年度R I 會長に指名された時、アッシュヴィルタイムズ誌は大きな見出しで誇らかに「バズテネント」と印刷し、記事を書いた。實際アッシュヴィル市でチャールズ・テネントを知らない人はいるがバズの名を知らない人は少い。町のハイスクールの花形選手であつた時代から彼はこの名で通つていた。そしてこの名は彼の父が子供の時から彼に與えた綽名であつた。

彼は苗木業者、民間團體のリーダー、家庭的な人で、ノースカロライナ西部のブルーリッジとグレートスモーキーマウンテンズの間でフレンチ・ブロード・リバー谷で生涯を送つて來たロータリアンである。6月末には彼が會長に選ばれた名譽を祝う爲に地區全體で「ロータリーバズ・テネントの日」を催し、ノースカロライナ知事、元R I 理事ルーサー・H・ホッジズ氏も参加した。バズと彼とは大學時代の友人で又ロータリー仲間でもある。

「バズは20エーカーに及ぶ美しいテネント苗木園を

經營しているが、彼はこの農園をそもそものはじめから育てあげたので、「市場に出せるよい品種を育てあげるには7年かゝるよ」と云つている。

彼は學生時代には先生になりたいと思つていたのであるが段々戶外の自然を相手にする仕事に入つて行つたのである。又1時は新聞記者として成功した時代もあつた。彼の今日ある萌芽はすでに5才の頃の逸話によくうかがわれる。或朝彼は根根の板のさげ目に朝顔の種がこぼれているのを見つけた。土が少しそのまわりに風で吹きよせられ、雨に濡れ、ついに發芽した。彼はその夏中この朝顔に水をやり、ついに4、5インチの高さに成長して毎朝花が咲く様になつた。

所で筋道を正して云うならば、チャールズ・ゲイラード・テネントは1894年アッシュヴィル附近の農場に生れた。南カロライナ州より移住した家族の2人の兄弟4人の姉妹の1人である。彼等の祖先はニュージャージーの出身で先祖の1人は今日のプリンストン大學の前身である小カレヂ創立に與つた。バズの両親は金持ではなかつたが6人の子供には皆大學教授を授けた。

アッシュヴィルで小學中學高校と學んだが、いつも読み、書き、圖畫、辯論、とりわけスポーツが大好きであつた。1914年ノースカロライナ大學に學びやがてバスケットボールの花形となり、4年生の時には大學のバスケットボールチームの主將となつた。又文にも長じ大學新聞「タールヒール」の編集に當り、大學の雑誌、文藝部雑誌等にも寄稿した。又シェークスピアに就いてのソネットを作つて5弗の賞金を得たこともある。これは當時としては大金だつたと彼は云つている。大學では又フェイデルタ・セータ・フラターニティに加盟し、文藝サークルのシグマ・ウプシロンフラターニティにも加盟していた。歴史及び英文學を専攻して1918年BAになつた。大學時代の最高の名譽は「金羊毛メダル」を得たことで、これは毎年大學の最上級生の中最も秀でた學生8名に公に與えられる賞である。彼は食堂の給仕をしたり、書籍の販賣、洗濯物の配達等をして苦學し乍ら勉強したのであるから並大抵の努力ではなかつたのである。

彼の大學生時代は丁度第1次大戰の最中で、彼も大學4年の中頃陸軍に入り、少尉となつてジョージア州のキャンプハンカックで壯丁の教育に當つた。大戰が終ると彼はアッシュヴィルに戻つてタイムズ社の記者として働いた。又北カロライナ國民防衛隊の騎兵士官に任ぜられた。バズは記者としての仕事に20年間熱心に従事し文才のある事を自分自身にも他人にも示した。しかし彼の大好きな戶外の風物が彼の生活から離れて了つた事は寂しかつた。この時にバズは苗木栽培業を始めようと

決心し、殆んど資本なしで、テネンド苗木園を始めたのであつた。

この頃屢々バズはバスケットボール試合のレフェリーをしたが、偶々ある時、應援席の中に一際大きな叫び聲を聞き偶然そこへ目が行つた。宿命であつた。そこに見たものは「嘗て見たためしもない美しい大きなとび色のひとみであつた。」と彼は云う。この目の持主の名はジェッシー・マーサーと云い、オハイオ州からこの町へ移つて来たお嬢さんであつた。2人は間もなく一緒に山腹のドライブをする様になり、そして結婚に迄こぎつけた。

バズとジェッスの間には息子3人と娘1人孫6人がある。テネント家が家族として一番楽しい思い出はキャンプの旅で、毎年1、2度は山や釣りの爲には湖畔地方へキャンプに出かける。幸に奥さんのジェッスもこう云う事は大好きで、家族があれ程落着いて満ち足りているのはその調和した理解と忠實さのおかげだと思ふが、それも大なる程度に皆の興味が一致している爲だと思ふ。ジェッスは愛情深い母であり祖母であり、教會に對しても熱心な夫人である。

1930年代に於けるバズの取引の一つはグローヴ・パークコミッションとで、その際相手方の公園官にハーバート・K・キャスキーと云う名の人があつた。この人がロータリアンで頻りにバズに何回かロータリー入會をすすめたが彼の返事はいつも、ノー・サンクスであつた。大學時代に彼は何の會にでもやたらに入會したので、これからは決してどんな會にも入會はしまいと決心していたのである。しかし3度目にアッシュヴィルRC入會をすすめられた時、バズはハーバート・キャスキー氏の様な立派な方がRCに感きつけられている以上はロータリーには何かあるのではないかと思ひ始め、段々判つて来るにつれてRCを好く様になり遂に1935年に入會を受諾した。彼が會員になつてからは、私がロータリーの要點を色々彼に教える役目を引受けた。そして3年後には、彼とジェッスと一緒にロータリーのサンフランシスコ大會に参加したが、この時或朝の食事の際我々はボール・ハリスに會つて激談する事が出来た。

ロータリー創立者と偶然會ひ、大會の國際的友情に接した事によりバズの視野は廣まり、やがて我クラブの銀祝の年に彼はクラブ會長に選ばれた。そしてその節にはボール・ハリスがわざわざ講演者として來會して下さつたのである。やがて地區ガバナーとなり1948—49年にはRI理事、第1副會長となつた。彼はロータリー生活の間の多くの委員會の委員長や委員を勤め、ロータリー組織の色々な部門で扱われる諸問題にも通曉している。1951—52年及1954—55年には財務委員會委員長、又1951



—52年には投資委員長、又最近には數千の人々をルサーンのRI大會に輸送する爲の北米輸送委員會委員長を勤めた。

1958年度ダラス大會にはバズが議長を勤めるのだがその際彼はテキサス州名譽州民として出席するのである。即ち1952年オースチンでロータリー地區大會が催された際知事のアラン・シバーズ氏がテキサス式帽子を彼の頭にかぶらせて、名譽州民の稱號を與えたのである。

最後に結びとして一つの話を書き足すが、今から數ヵ月前、バズは舊友と一緒に釣りに出かけようとしていたこの旅は山の中に入るので電話の通ずる所から尙お2日3日離れた所へ行くのである。旅装を整えて却々やつて來ない友達を待つていた。そこへ電話が鳴り、長距離電話がかゝつて來た。RI會長指名委員會委員長からの電話で指名を受諾しないかと云うのである。バズはびつくりして、無意識にすぐ様彼らしい返事をした。「君達はもつと巧い考が出ないのかね。」

バズはきつと今でもそう考えているのであろう。しかし米國及び諸外國の數千の友人達は指名委員はこれ程よい指名はなし得なかつたらうと確信している。そして諸君自身でそれが判る時がきつとくるものと信ずる